

S-86-1

挑戦に年齢制限なし!!私が目指す臨床検査技師
～できることは多い方が楽しい～

◎今坂朋香¹⁾ 渡部宇洋¹⁾ 市坂一哉¹⁾
京都保健衛生専門学校¹⁾

【背景】

大学を出て社会人となり、ある日転職を考えた際に、「自分はどんな人になりたいか」というお題と再び向き合うことになった。

その結果、幅広い知識を得て、自分や周りの人々の為に生かしたい。金銭的な問題で、心が貧しくなるのは嫌だ。偶然、医療関係で動く経済規模の大きさの話を目にして、将来性を感じた。継続的に働くには国家資格が必要だ。このような理由で、種々の国家資格を調べ始めた。

【方法】

国家資格を絞るのには、消去法を用いた。工業大学時代の苦手分野、社会人生活の中で不向きだと考えた事柄を除いたら、臨床検査技師という職業が残った。

取りたい資格が決まったので、専門学校を調べた。学費と雰囲気、何よりも社会から離れることなく学校に通えることから、本学の夜間部を選んだ。

【結果】

臨床検査においては、専門性を追求するスペシャリストと、幅広く様々な業務をこなすジェネラリストという選択がある。私は幅広い知識を使うことのできる後者を目指したいと考えている。

元々の想いに加えて、社会人としては小さな店舗管理を任せられ、全体を見る仕事に魅力を感じた事、また私自身が一つの事に没頭できるタイプではないことも要因である。

【考察】

ひとりでは、大きな事を達成できないが、多くの人が集まれば、完成度の高い大きなものを得ることができると思う。

臨床検査だけでなく、医療関係の専門職がそれぞれの知識や経験を活かして協力できるなら、将来は、広く、積極的に関わっていきたい。